

# はじめに

平成 18 年 2 月 6 日に幕別町と忠類村が合併し新幕別町が誕生してから、12 年が経過しました。

この間、少子高齢化や人口減少の急速な進行による人口構造の変化をはじめ、自然災害の発生に対する安全・安心の確保の必要性の高まりなど、社会背景は急激に変化しております。

このような状況の中、平成 30 年度を初年度とし、平成 39 年度までの 10 年間を計画期間とする「第 6 期幕別町総合計画」を策定し、将来像を「みんながつながる 住まいる まくべつ」と決めました。

子どもから高齢者、障がいのある方など、誰もが相互に「つながる」こと、三つの市街地がある幕別町は、今後もそれぞれの特徴を生かしながら、一つのまちとして、全町が「つながる」ことなど、「人・世代・地域・世界」あらゆる人・場所を包含する「みんなが」と、「つながる」という言葉をキーワードとして掲げました。

また、少子高齢化・人口減少時代において、幕別町に住んでいただく、住み続けていただくということは非常に重要であると考えています。

そのためには、今住んでいる町民の方が夢や希望、誇りが持てる、そして行政とともに、まちづくりを進めていくことが大事であり、つながりの中で全ての町民が幸せな笑顔であること、そのことにより、笑顔あふれるまちであることが大切な要素であると考えております。

「笑顔あふれるひと」「笑顔あふれるくらし」「笑顔あふれるまち」を実現していくことで、新たに「住んでみたい」、そして今住んでいる町民の方も含め「住んでよかった」「住み続けたい」まくべつを目指し、まちづくりの取組を進めてまいりますので、皆様の積極的な参画とご支援をお願いいたします。

結びに、本計画の策定に当たりましては、町民アンケートや小学生議会、中学生・高校生議会、まちづくりワークショップなどを通じ、多くの町民の皆様からのご意見をいただき、また、総合計画策定審議会委員の皆様には、熱心にご審議いただきました。改めて、心から感謝とお礼を申し上げます。

平成 30 年 3 月

幕別町長 飯田 晴義

